

H30 年度 社会福祉施設・事業所における公益的な取り組み実態調査 集計結果

I 調査の概要について

調査名：H30 年度 社会福祉施設・事業所における公益的な取り組み実態調査

調査目的：改正社会福祉法により責務となった社会福祉法人の地域における公益的な取り組みについて、各社会福祉施設・事業所における取り組み状況を把握する。

併せて、社会福祉施設・事業所が利用者以外の地域住民の福祉・生活課題に対して、公益的な取り組みとして、どの程度関わっているか、また、取り組みを通じて把握された地域住民の福祉・生活課題について、共有する場があるかどうか実態を把握する。

調査対象：本会に所属する種別協議会の会員のうち、社会福祉施設・事業所（536ヶ所）

調査方法：調査票を郵送にて各社会福祉施設・事業所へ送付し、FAX または E メールにて回答を受付た。

調査期間：平成 30 年 6 月 25 日（月）～ 7 月 20 日（金）

回答数：189ヶ所

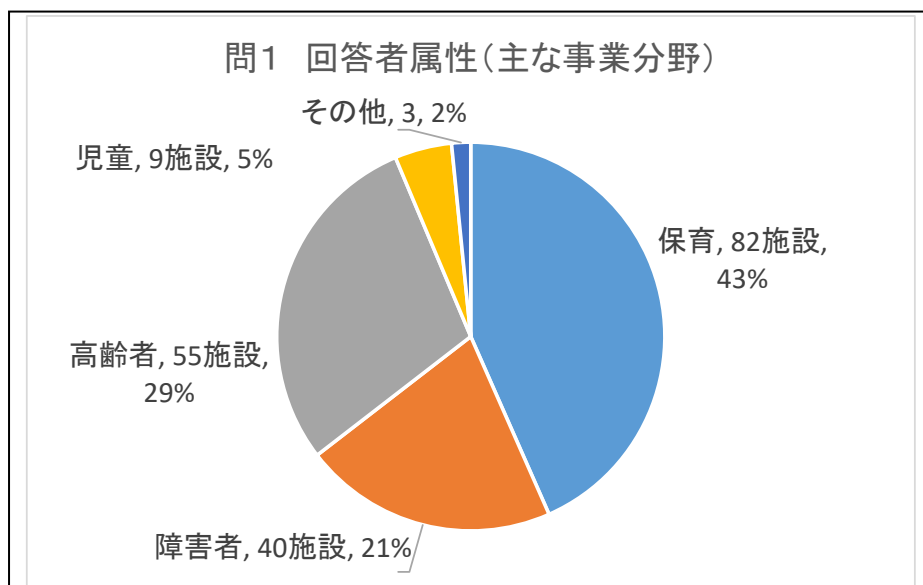
回答率：35.3%

実施者：社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 施設団体福祉部

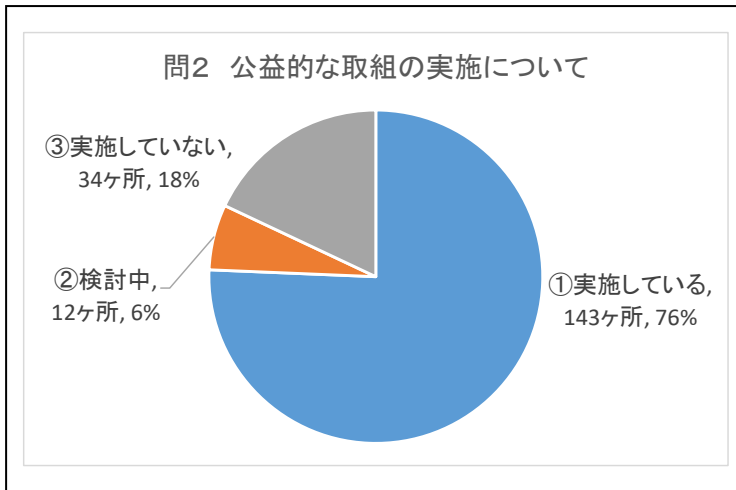
その他：記述の回答については、施設の種別及び市・地区名を記載。離島の市町村については、全て離島として明記している。

II 調査集計結果について

問 1. 回答者の属性



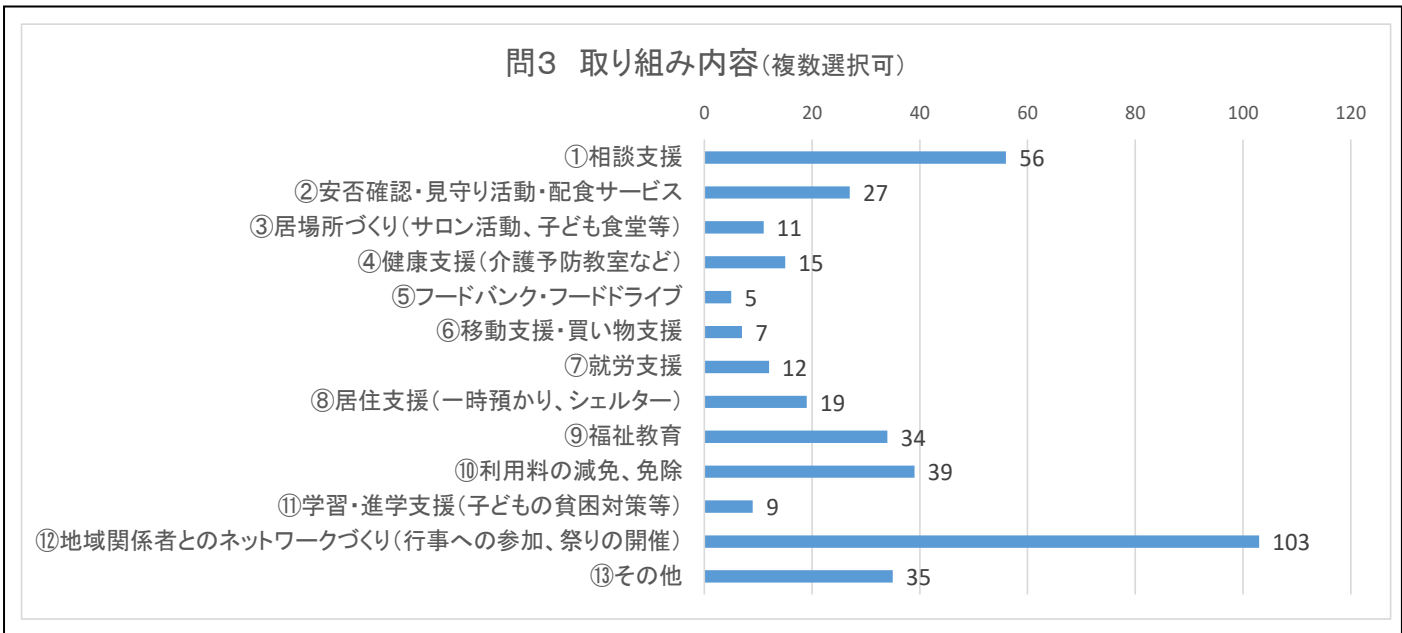
問2. 地域における公益的な取り組みを実施状況について



公益的な取り組みを実施していると回答した施設は、全体の76%であり、全ての施設での取り組みには至っていない。

問3. 問2で「はい」「検討中」と答えた施設・事業所が実施している（実施予定含む）取り組みについて複数回答可。

これまでの調査同様に最も多い取り組みは「地域関係者とのネットワークづくり（行事への参加、祭りの開催）」であった。
 次いで多いのが「相談支援」（59ヶ所）となっており、沖縄県内社会福祉法人の地域における公益的な取り組み指針で定めた各施設・事業所における相談・支援体制の整備が少しずつではあるが、着実に取り組まれている。



問3－(2) チェックした項目の取り組みの具体的な内容について

①相談支援

- ・地域の障害者の相談支援〔障害・南部地区〕
- ・児童養護施設を卒業した子ども達への支援〔障害・うるま市〕
- ・こども家庭相談窓口として相談を受け付け、専門機関へ繋いでいます。〔保育・南部地区〕
- ・子どもの育て方やしつけ方、子育ての負担相談、子どもの発達が気になる、親が病気で子どもを育てられない、家族関係がうまくいっていない、ひとり親家庭の支援/近所の子どもの虐待等の相談対応。〔保育・南部地区〕
- ・子育て支援センターを通し、年間予定表を作成し、育児相談、園庭開放する日を決め、保護者は勿論のこと、地域の人たちにも利用できるように努めている。〔保育・浦添市〕
- ・子育て支援事業→子育ての相談、面談、電話相談〔保育・宜野湾市〕
- ・地域相談（介護保険、介護予防、法律相談）を月1回実施。〔高齢・那覇市〕
- ・利用者家族、地域住民（主に卒園児）に対する相談支援〔保育・糸満市〕
- ・入所中、また退所後の児童や保護者の相談支援〔児童・離島〕
- ・活動支援センター内に相談員を配置して、地域の方の相談に応じている。〔障害・うるま市〕
- ・地域子育て支援センター事業を実施しているため、地域への施設開放や子育て相談を行う。〔保育・那覇市〕
- ・地域高齢者や家族からの相談支援。〔高齢・那覇市〕
- ・在宅重症心身障害児（者）等の地域における生活を支えるため身近な地域で療育指導等を実施。在宅支援訪問療育等指導（巡回相談・訪問検診）、在宅支援外来療育等指導（外来での療育・相談）、施設支援指導（障害児の嘉陽保育所、学校、事業所の職員に対する障害児療育に関する技術等指導）〔障害・那覇市〕
- ・総合相談業務、職員による安否確認、見守り訪問、介護予防教室（通所C）〔高齢・中部地区〕
- ・子育て相談ルーム開設。電話や直接ルームに来ていただく。〔保育・那覇市〕
- ・子育て応援DAY→実施日毎週水・木・金に地域の親子で園児との交流。給食試食体験を年6回実施。地域の乳児、子育て家庭に向けた園庭開放・給食体験〔保育・那覇市〕
- ・地域に住む子育て家庭への福祉窓口の紹介〔保育・うるま市〕
- ・総合相談窓口担当（1名）配置し、サビ管と連携して相談支援を実施〔障害・名護市〕
- ・相談支援…相談担当職員を配置し、利用者のご家族・地域住民に対する相談の体制を取っている。〔高齢・北部地区〕
- ・総合的なニーズに関する担当窓口を設置〔高齢・北部地区〕
- ・居宅訪問時や施設に直接相談があった場合に担当が対応している。〔高齢・北部地区〕
- ・相談支援→ご家族からの相談対応〔障害・豊見城市〕
- ・利用料の基礎となっている世帯収入について家族と相談、市との交渉。〔障害・離島〕
- ・利用者のご家族や地域住民に対する相談支援〔障害・中部地区〕
- ・八重瀬町障害児者相談支援事業（委託）、計画相談支援、障害児相談支援事業〔障害・糸満市〕
- ・24h体制である為、いつでも何かあれば電話で対応できるようにしている。〔高齢・南城市〕
- ・相談支援：障がい児者の相談支援・デイサービスを行う中で、家族支援も含めて関わる事が多い。〔障害・南城市〕

②安否確認・見守り活動・配食サービス

- ・低額な配食サービス〔高齢・うるま市〕
- ・南部地区、南部地区より配食サービスの委託を受けている以外に西原町、中城村、南城市、八重瀬町、那覇市の高齢者へ配食サービスを実施。〔高齢・南部地区〕
- ・1人暮らし世帯への見守り、声かけ、配食等での関わりを通して、地域とのつながりを深めていく。〔保育・南部地区〕
- ・地域の高齢者宅へ弁当配達時、安否確認・見守り等行っている。〔高齢・大宜味村〕
- ・地域、お年寄りの家庭を毎週（月）子どもたちと訪問（見守り隊）地域、一人暮らしのお年寄り家庭へ火曜日・木曜日とお弁当配達を行っている。〔保育・浦添市〕
- ・見守り活動とし、3～5歳児が散歩を通して地域の高齢者への声かけや話し相手等、見守り活動をしている。〔保育・糸満市〕
- ・毎月、地域で暮らす一人暮らしの高齢者宅を訪問している。対象者へ声かけを行い、園児たちと会話を楽しみ、歌を披露しながら見守り活動を行っている。〔保育・南城市〕
- ・南部地区社協の実施する配食サービスに該当しない方々からの要望を受け、地域貢献の一環として開始した事業で、平日の昼食を調理、提供している。昼食調理が困難な独居または高齢者夫婦世帯、家族では対応困難な制限食の必要な方等で南部地区を中心に、配達可能な近隣市町村にお住いの高齢者を対象に昼食の調理、配達を実施。〔高齢・南部地区〕
- ・地域小学校のスクールガード。〔高齢・那覇市〕
- ・配食サービス…地域の高齢者や障害者へ弁当を届けながら利用者の見守りを行う。〔高齢・南部地区〕
- ・配食時と容器回収時の安否確認〔高齢・南部地区〕
- ・「大里デイほんわか弁当」お弁当は大里いきいきデイサービス利用者・利用曜日に限り利用できます。月曜日から土曜日の夕食をデイサービス利用、送り時にお届け致します。〔高齢・南城市〕
- ・土日に法人の職員と地域の有志で取り組んでいる。有償ボランティアとの位置づけで手当てを支給。配食サービスは見守り活動に従事する方が担っている。〔高齢・離島〕
- ・地域ケア会議を通しての見守り〔高齢・名護市〕
- ・安否確認、見守り活動、配食サービス…北部地区の配食サービス事業委託を受け、独居老人の配食の安否確認を行っている。〔高齢・北部地区〕
- ・配食サービス宅配時の安否確認で、急変の利用者を救急搬送対応。〔高齢・北部地区〕
- ・老人、障害者への宅配弁当サービス。〔障害・離島〕

③居場所づくり（サロン活動、子ども食堂等）

- ・高齢者→毎週1回当施設内の会議室を利用して談話、カラオケ等の楽しい生活の場を提供している。また、等場所利用者は当園内行事の誕生会等にも招待している。〔高齢・沖縄市〕
- ・地域高齢者を対象とした茶話会。〔高齢・那覇市〕
- ・医療ケア児、発達障害児と保護者が園内で保護者同士が交流会を持ち近況報告等を行う。保育園のスタッフは兄弟児が園内で遊んだりするのを見守る、園を開放することにより子育て中の保護者が生きがいと元気に暮らすきっかけづくりを援助する。〔保育・離島〕
- ・子ども食堂・大人食堂（H30.9月実施予定）〔障害・うるま市〕
- ・子ども食堂事業→中部地区の無料塾へおにぎりの無償提供〔高齢・中部地区〕

④健康支援（介護予防教室など）

- ・家庭や地域の中の連帯感や支え合いの力が弱くなってきている。地域で生活している皆様の中には、生活のことや介護の事など様々な問題を抱えている方々が多くいます。そういった問題を解決するために各種団体（多職種）の連携を密にして、誰もが孤立する事なく住み慣れた街で安心していつまでも暮らせるように、専門職の予防活動の支援、心理面の支援、講演活動の啓発活動等。〔高齢・南部地区〕
- ・南部地区、中部地区、南城市、那覇市の各自治体より、健康教室の依頼を受け実施。〔高齢・南部地区〕
- ・介護生活を考える勉強会〔障害・糸満市〕
- ・介護予防教室/月1回〔高齢・那覇市〕
- ・介護予防教室を定期的開催（月4回）〔高齢・沖縄市〕
- ・介護教室～地域で介護の知識や技術の実践〔高齢・離島〕
- ・介護予防教室（地域包括支援センター主催）への多目的ホール無償提供など〔高齢・那覇市〕
- ・ふれあい交流会、虚弱、閉じこもりがちな高齢者の健康づくり・生きがいくくり支援〔高齢・那覇市〕
- ・（火・金）北部地区からの受託事業（活デイサービス）を実施〔高齢・北部地区〕

⑤フードバンク・フードドライブ

- ・フードバンクとして、地域の困窮者に食料（米、ソーメン、ラーメン、缶詰等）を提供（検討中）。〔高齢・南部地区〕
- ・フードバンクとして、職員から食材を集め中部地区社協へ提供している。〔高齢・中部地区〕

⑥移動支援・買い物支援

- ・津堅島においてリフト車を活用した障害者移動支援〔高齢・うるま市〕
- ・低額料金での利用が可能な介護タクシー〔高齢・南城市〕
- ・外出・外泊時、経済的に負担が多い家庭への送迎支援〔児童・離島〕
- ・在宅の要介護認定者の買い物支援を法人所有のリフト車を使用して週1回行っている。〔保育・離島〕

⑦就労支援

- ・小・中・高の生徒の受入れ、インターンシップや職場体験を行う。子どもたちの将来の就労へ向けて、将来の親になる時の教育とも捉えています。〔保育・那覇市〕
- ・就労支援→高齢者、知的障害者雇用〔保育・那覇市〕
- ・生活困窮者に対する認定就労訓練事業（いわゆる「中間就労」）〔その他・那覇市〕
- ・社会貢献活動、認定就労訓練事業、〔障害・うるま市〕
- ・障害者の雇用と地域の高齢者の雇用、生活困窮者の雇用〔障害・北部地区〕
- ・生活困窮者就労訓練事業所として、沖縄県より認定を受けています（実績はまだありません）〔高齢・沖縄市〕
- ・保護者の就労支援の為、低料金で学童保育を実施している。〔保育・名護市〕
- ・共同生活援助者や地域の障害者の就労の場の支援〔障害・中部地区〕
- ・就労支援として、一人親世帯や障害者雇用、高齢者雇用等を推進している。〔障害・南城市〕

⑧居住支援（一時預かり、シェルター等）

- ・短期保護事業…乳児、児童、知的障害児（者）の保護者が家庭において養育介護する事が困難になった場合に低額で短期間保護する〔児童・糸満市〕
- ・災害時における福祉避難所の設置に係る協定締結（那覇市）〔その他・那覇市〕
- ・自立準備ホーム〔障害・うるま市〕
- ・一時入所事業→生活保護受給者を対象に一律千円（1日）で食事及び居場所等を支援している。他、DV等緊急の場合も対応しています。〔その他・中部地区〕
- ・行政からの一時保護等への対応もしている。（高齢）〔高齢・離島〕
- ・一時保護所の役割（短期間）〔児童・離島〕
- ・生活困窮者受け入れ、シェルター〔高齢・離島〕
- ・名護市と近隣町村と高齢者一時保護事業や名護市と生活困窮者一時生活支援事業等で支援実施。〔高齢・名護市〕
- ・近隣市町村との業務受託による緊急一時保護を実施。一時的に保護される方に対し短期入所と同様のサービスを提供する。〔障害・名護市〕
- ・DVや虐待、生活困窮者の緊急的な受け入れ〔障害・名護市〕
- ・虐待の一時避難所及び震災時の福祉避難所として登録。〔障害・南部地区〕
- ・300人ほど収容できるホールがある為、避難所として対応している。〔高齢・南城市〕

⑨福祉教育（児童生徒や地域住民に対する福祉教育）

- ・養護学校生徒実習受入。特養での高齢者サービスの紹介と健康体操の指導と口腔ケア、自宅で実施できるリハビリ指導。〔高齢・離島〕
- ・小学生対象の車椅子、アイマスク体験。〔障害・糸満市〕
- ・就業体験の受け入れ、施設見学者の受け入れ〔障害・離島〕
- ・地域の学校や関係団体からの訪問や実習、研修の受け入れ、〔障害・うるま市〕
- ・高齢化社会への認識を深めるとともに、住みよい豊かな地域社会への創造を目指し、那覇市内のこども園・幼稚園・小学生を対象に高齢者（おじいさん、おばあさん）を対象にした絵画・作文・標語を募集し、子ども達の敬老思想を育む。〔高齢・那覇市〕
- ・小学生の職場体験、中学生の福祉体験、高校生のインターンシップ、介護等体験、施設実習等の受け入れを行い、障害者の生活実態に触れてもらい福祉施設の果たす社会からの役割と機能、職員の役割や職務内容を認識してもらうようにしている。〔障害・南城市〕
- ・地域の学校への出前授業（保健体育における応急手当の基本について）。地域での防災講話、炊き出し訓練、AED講習。〔高齢・那覇市〕
- ・福祉教育について（実施予定）事業所内にある陶芸棟を活用し陶芸教室。子どもたちや高齢者に障害者との交流の機会を作る。子ども達へは自由研究や夏休み等の作品作り等手助けし、高齢者には余力活動等の助けとしたい。〔障害・南部地区〕
- ・夏休み期間中の小中学生ボランティア受け入れ〔保育・南部地区〕
- ・法人主催で一般の方向けに、介護・福祉・医療の現場から一流の専門家を講師に招き、平成30年9月～平成31年3月まで12回、命を学ぶ講演会を行う。〔障害・高齢・那覇市〕

- ・地域の中学校との学習交流。〔障害・北部地区〕
- ・近隣の専門学校や大学などの学生に対し、無償にて介護体験実習を行う。また、介護・医療に対する理解や技術、社会人としてのマナーを身につけてもらうための受け入れを実施しています。〔障害・北部地区〕
- ・小学生～高校生を対象に夏休み期間中、保育士の仕事を体験できる約3日間（1日4時間程度）※一緒に活動、食事を食べる等。〔保育・離島〕
- ・地域デイへの健康講話、キャラバンメイト（認知症についての講話）〔高齢・糸満市〕
- ・福祉体験学生受け入れ、実習生受け入れ。〔障害・糸満市〕〔高齢・離島〕
- ・中・高生の職場体験及びボランティア受け入れ。〔保育・糸満市・那覇市〕
- ・認知症サポーター養成講座→（町民、高校生徒、町内企業）。福祉学習教室→（小学校車椅子体験）〔高齢・中部地区〕
- ・福祉教育…児童生徒の福祉施設体験の受け入れ、ボランティアの受け入れ等を行っている。〔高齢・北部地区〕
- ・介護等体験、職場体験学習、教員を目指す学生等を受け入れ、福祉に対する理解を深めていただく。〔高齢・那覇市〕
- ・「福祉のしごと入門教室」で小学校へ介護職員の講師派遣。福祉介護体験学習受け入れ。〔高齢・北部地区〕〔障害・離島〕
- ・地域の小・中・高・特別支援学校からの就業体験・福祉体験・ボランティア活動の受け入れ。〔障害・豊見城市〕
- ・小学校、中学校での「福祉のお仕事入門講座」で出前講義。〔障害・北部地区〕
- ・認知症サポーター養成講座を行っている。〔高齢・南城市〕

⑩ 既存事業の利用料の減免、免除

- ・おやつ代の半額補助〔障害・糸満市〕
- ・社会福祉法人等による生活困難者等に対する介護保険サービスに係る利用者負担額軽減制度事業の実施。〔高齢・離島〕
- ・サービス利用者のうち低所得者に対し利用料減免を実施〔高齢・沖縄市〕
- ・学童事業において、兄弟割や片親割等利用料の減免〔保育・名護市〕
- ・生活保護世帯への食費の減免。〔障害・うるま市〕
- ・生活保護受給者と対象に入居一時金（敷金）30万円→12万円に減額している。この件については、管轄の自治体と金額の調整を執り行った。〔高齢・うるま市〕
- ・毎月第3木曜日の午後に地域の学童にプールを開放し、本園学童と交流する。〔保育・那覇市〕
- ・既存事業の利用料の減免、免除…利用料の支払いの困難な方に対し減免を実施している。〔高齢・北部地区・うるま市・宜野湾市・那覇市・豊見城市・南城市・離島〕〔障害・名護市・北部地区・うるま市・那覇市〕
- ・通所介護利用者の食事費無料〔高齢・沖縄市〕
- ・低所得者対応として、法人独自で減免をしている。〔高齢・南城市〕

⑪学習・進学支援（子どもの貧困対策等）

- ・夏休み期間や学校終了後に施設内一部を開放し、勉強などをするための環境の提供（飲み物やお菓子を提供）〔高齢・離島〕
- ・貧困問題の件で教材等（ハサミ、のり、クレヨン等）を共有して使っている〔保育・那覇市〕
- ・児童クラブの一部を利用して、児童クラブに通ってない子ども達へ放課後の学習支援の実施〔高齢・那覇市〕
- ・肢体不自由児高校生への返還不要奨学金の交付（H30年度実績 3万円×30人=90万円）〔障害・那覇市〕
- ・「まいふな一学級」という名前で、地域の子どもたちに対し夏休みや冬休み等の長期休暇中の学習スペースを提供し宿題のお手伝い、工作の手伝い等をしている。〔障害・離島〕
- ・貧困世帯児童（小学生、中学生）の無料学習塾（送迎及び軽食無料提供）〔児童・離島〕
- ・カルチャーレストラン内に小学生から高校生まで学べる学習クラブ開校。〔高齢・南城市〕
- ・児童養護施設を卒業した子どもたちへの金銭的支援〔障害・うるま市〕

⑫地域の関係者とのネットワークづくり（地域行事への参加、祭りの開催等）

- ・地域行事への参加、自治会への参加、清掃作業等への参加、祭りへの参加、地域防災訓練への参加。〔保育・名護市・沖縄市・宜野湾市・浦添市・中部地区・那覇市・豊見城市・糸満市・南城市・離島〕〔児童・糸満市・南部地区〕〔障害・北部地区・うるま市・南部地区・離島〕〔高齢・沖縄市・那覇市〕〔高齢・離島〕
- ・地域の方も委員になってもらい法人全体の委員と一緒に地域行事への参加、施設行事への参加等によりネットワークを構築している。〔高齢・離島〕
- ・村内で開催される福祉運動会、福祉納涼祭りへの企画運営参加〔障害・中部地区〕
- ・自治会の草刈りへ参加。〔高齢・中部地区・南部地区〕
- ・学校行事における施設の活用（パン作り体験）〔障害・離島〕
- ・地域の関係者とのネットワーク作り（首里ネットワーク、福祉祭への参画）〔その他・那覇市〕〔保育・名護市〕〔高齢・名護市・中部地区・南部地区〕
- ・青年会、婦人会活動へ参加〔高齢・北部地区〕
- ・社会福祉施設長連絡会〔保育・南部地区〕
- ・地域の農業組合と協働し地域の土地を活用した菜園活動（収穫体験に向けた継続的取組）〔保育・沖縄市〕
- ・法人で取り組む納涼祭を開催し、多くの地域住民の参加〔障害・北部地区〕
- ・カフェを月1回実施。〔高齢・那覇市〕
- ・施設機能を活用し地域の保育園、中学校、子ども会、舞踊、三味線研究所、その他団体の皆様との慰問交流や伝統行事への職員の参加、利用者の見学等を実施している。〔高齢・離島〕
- ・美さと児童園プロレスまつり、研修室・マイクロバス・体育館・臼杵等施設所有の開放または（無償）借用。〔児童・沖縄市〕
- ・児童、高齢、障害者福祉分野と民生委員、老人クラス、行政、社協等の担当者が集い、事業報告を聞いたりグループワーク等で地域のことを考えるネットワークづくりを行っている。〔障害・南城市〕

- ・地域の老人を公民館にお招きしてジュシーの会食会を一緒にしたり、園児の演舞を披露したりして、交流を図る。新1年生の入学祝に職員も参加し余興や地域の方々と交流をもつ。〔保育・沖縄市〕
- ・小地域福祉活動→中部地区社協と共同で町内の自治会へ職員を派遣し高齢者の健康チェック。清掃ボランティア→中部地区内の道路や独居老人宅の草刈り活動など〔高齢・中部地区〕
- ・新一年生の入学祝に職員も参加し、余興や地域の方々との交流を持つ。〔保育・沖縄市〕
- ・利用者の出身地へ訪問する「故郷訪問」を月1回実施し、地域の方々と交流。〔高齢・北部地区〕
- ・地域の障害福祉事業所と連絡会を作り勉強会やイベント。〔障害・豊見城市〕
- ・防災等、地域とのネットワークづくりに携わる。〔保育・名護市〕
- ・沖縄では特別な日として設定されている慰霊の日に、当法人だけでなく地域の関係団体(11団体)と「平和記念公園へ千羽鶴を奉納する」という目標を掲げ、1万2千羽の鶴を奉納した。〔高齢・うるま市〕
- ・出前保育→村社協主催の子育てサロンへ保育士を派遣する。〔保育・中部地区〕
- ・地域のミニデイサービスへ参画し、交流を図る。〔保育・那覇市〕〔障害・名護市〕
- ・ニライの里フェスタ（障害者の方々と一緒にフェスタを楽しんだ）〔保育・中部地区〕

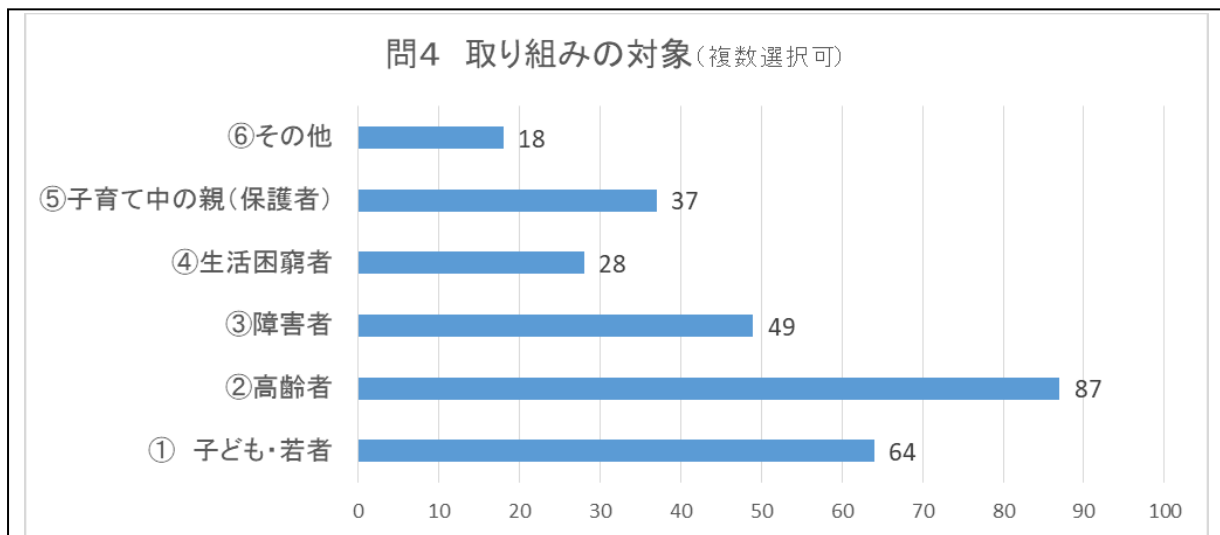
⑬ その他

- ・当法人主催のグランドゴルフ大会を定期的実施。〔高齢・南部地区〕
- ・地域住民や近隣の介護施設等の方に、会議室やホールを提供。〔障害・北部地区〕〔高齢・北部地区〕
- ・離島在住の障害児が、短期入所利用時に食費（個人負担分）を無償にて提供。〔障害・うるま市〕
- ・子育て支援→地域の子育て中の家庭へ、育児情報の提供（月に1度「かなさん」を発行している）〔保育・糸満市〕
- ・「赤ちゃん先生クラス」（ママの働き方応援隊による）を開催。赤ちゃん、親世代、高齢者の三世代交流。〔高齢・那覇市〕
- ・福祉車両貸し出し〔高齢・北部地区〕
- ・発達障害児者の支援者を対象とする講習会に職員を派遣している。〔障害・沖縄市〕
- ・月に一度園庭開放を行い、地域への子育て支援を行っている。〔保育・糸満市〕
- ・通所児童で、精神的に不安定な児童への病院受診引率。夏休みラジオ体操の場所として施設を提供したり、研修時にも施設を研修場所として提供。〔児童・離島〕
- ・障害児の事業所が集まり連絡会を結成して、イベントや啓発活動（行政と連携）の実施と連絡会の事務局を担っている。〔障害・うるま市〕
- ・自治体から地域の年配の方々の雇用について依頼があり、当法人の居室の清掃について、シルバー人材センターに委託し業務を行っている。〔高齢・うるま市〕
- ・卒園児の職場への適用相談（職場訪問、TELにて状況伺い）。卒園児の社会資源活用のための手続き等の支援。子ども食堂へクリスマスケーキやつきもちの配布〔児童・南城市〕
- ・児童館へのおにぎり提供…毎月2回。〔高齢・南部地区〕
- ・低額な料金で（三味線、カラオケなど）11教室を実施。送迎バスの利用もあり。〔高齢・那覇市〕
- ・SOSネットワーク協力施設として登録している〔高齢・名護市〕
- ・沖縄高等特別支援学校給食免除〔障害・うるま市〕
- ・福祉コンクール→市内・幼・小中学校の児童・生徒へ「おじいちゃん、おばあちゃん」をテーマにした標語、作文、絵画の募集及び表彰。〔高齢・糸満市〕

- ・いひちやー川清掃ボランティア活動（主催「いひちやー川を蘇生させる会」）〔障害・うるま市〕
- ・家庭裁判所、その他から依頼のある児童を受け入れ、福祉体験等を通して児童の健全育成を支援する。〔高齢・那覇市〕
- ・「地域貢献活動海浜清掃作業」を法人役職員で実施。片づけられないお宅の大掃除を、社協、包括支援センターと協働で行った。〔高齢・北部地区〕
- ・地域に住む障害児（者）の自立等に向け、音楽療法と料理教室を実施。〔障害・糸満市〕
- ・当園から高校を卒業し、進学及び就職した児童の社会的自立支援（金銭及びアフターケア支援）〔児童・離島〕

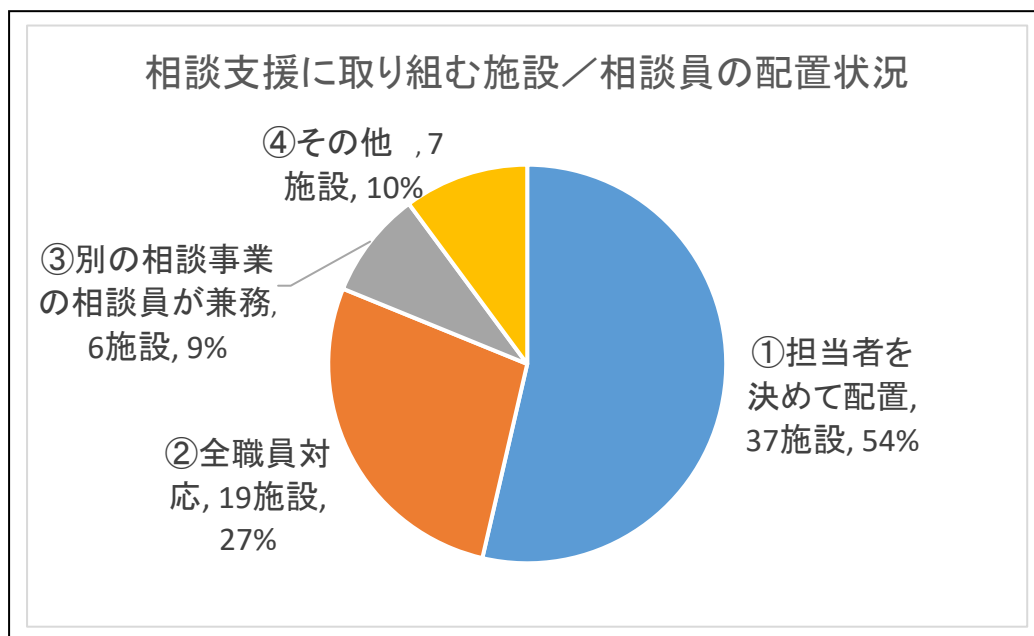
問4. 問2で「はい」「検討中」と答えた施設・事業所の取り組みの対象者について。複数回答可。

公益的な取り組みとしての対象は、「高齢者」と「子ども・若者」が多く、「生活困窮者」に対する取り組みは28カ所と低調となっている。



問5. 問3で「① 相談支援（利用者のご家族や地域住民に対する相談支援）」に○をつけた施設・事業所において、相談に対応する職員は、どのように配置していますか。

相談支援を行う施設・事業所の半数（54%）が、相談担当職員を決めて配置している。
全職員で対応しているとする施設・事業所も約3割（27%）ある。



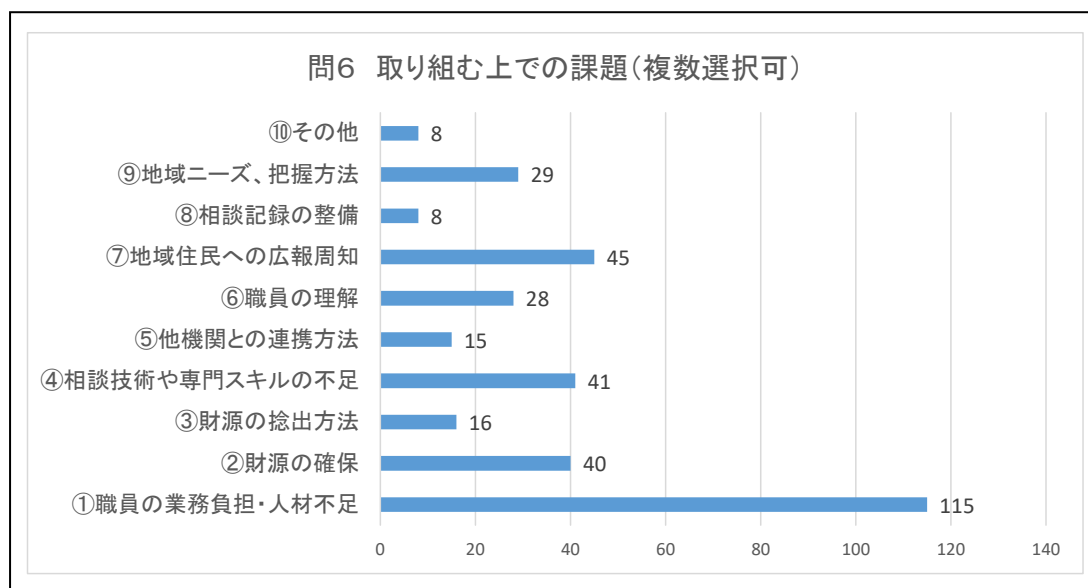
問5－（2）問5で「① 相談員は、担当職員を決めて配置している。」とした施設・事業所において、相談担当職員の役職を御記入下さい。

- ・理学療法士、言語聴覚士、管理栄養士等
- ・サービス管理責任者、相談事業所相談員、栄養士
- ・主任、保育士 ・主任（苦情受付として、相談窓口としています）
- ・園長、主任、副主任、リーダー職 ・園長、副園長、主任保育士 ・副園長、保育教諭
- ・統括課長 ・在宅支援課長 ・支援センター担当者2人、副主幹1人
- ・一般職、主任 ・役職は特に無し
- ・居宅ケアマネ3名（介護に係る相談）、顧問弁護士1名（法律相談）
- ・管理者、主任生活相談員 ・生活相談員 ・相談支援専門員、相談員 ・相談支援事業所職員
- ・児童指導員、保育士、FSW、心理士、その他管理職
- ・生活支援課長、介護支援専門員、施設相談員
- ・医師・相談支援専門員・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理士・保育士・介護員・看護師
- ・支援課長1名、生活支援員主任2名
- ・保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士 ・介護支援専門員
- ・委託支援事業所として対応
- ・総合相談窓口担当 ・役職は特に決めていない。今後検討予定。委託と計画で分けている。
- ・介護課長 相談員2名、介護支援専門員2名
- ・主任相談支援専門員・相談支援専門員・相談支援員・障がい児者相談支援（一般・特定・障がい児）

問6. 公益的な取り組みを実施する（検討中・未実施含む）上での課題について。複数回答可。

公益的な取り組みを実施する上での大きな課題は「職員の業務負担・人材不足」であった。本来業務に従事する人材の確保においても大変厳しい状況にある中で、どのように社会福祉法人としての公益的な取り組みを実施していくことができるのか、多くの施設・事業所が頭を抱えている現状がある。

次いで「地域住民への広報周知」と「相談技術や専門スキルの不足」「財源の確保」という具体的な課題が挙げられている。

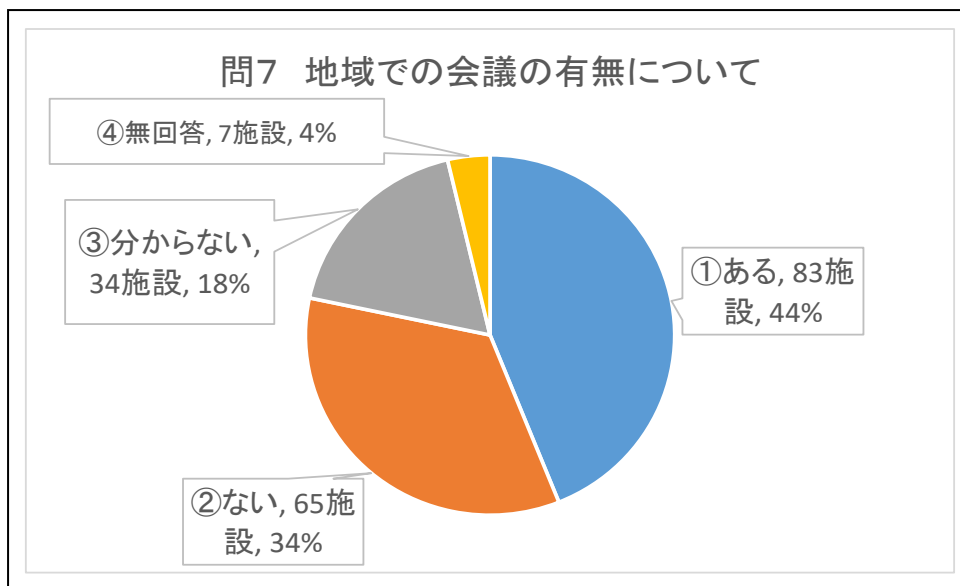


問6 - (2) 公益的な取り組みを実施する上での課題について補足説明や具体的内容について

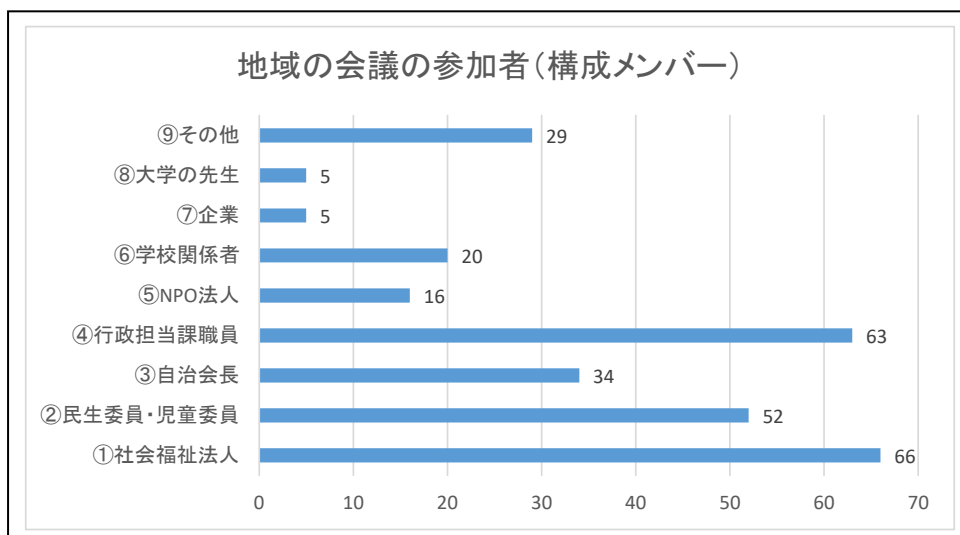
- ・ 保育士不足の解消が先決。保育士不足で検討する余裕もなく、厳しい状態で取り組む事が出来ない。〔保育・うるま市〕〔保育・沖縄市〕
- ・ 保育士、介護士不足の中、職員への協力は負担に繋がるため。〔保育・南部地区〕
- ・ 実際の目の前の事業でいっぱい余裕がなく、(行うのは職員であるので)現状では不可能。〔保育・名護市〕
- ・ 昨今の人不足の中、職員の確保が大変難しく人員が不足しております。〔障害・離島〕
- ・ 独居宅を多く訪問したいが、職員の負担が大きい。〔高齢・北部地区〕
- ・ 人手不足で地域のニーズ調査が出来ない。〔保育・糸満市〕
- ・ 地域のニーズ(必要とする支援)の情報があれば、当園でも具体的な対応検討ができるのだが…。〔その他・中部地区〕
- ・ 事業所内単独では、人材確保も難しいので法人全体で取り組む。〔障害・北部地区〕
- ・ 広報周知方法について、ポスターやホームページ等を使用しているが効率的な方法があれば参考にさせていただきたい。〔児童・沖縄市〕
- ・ 公益的な取り組みの必要性は感じているが、何をどの様にして取り組みを始めていったらいいのか、という基本的な学びが必要だと感じている。〔保育・那覇市〕

- ・「公益的な取り組み」について**組織的な議論が出来ていない**。〔高齢・那覇市〕
- ・法人会計、施設会計（措置費収入が主）どちらからの捻出が**適当か**？〔児童・南城市〕
- ・研修への参加についてもシフト調整し参加日数を確保している。**職員の業務過重が課題**。保育士不足。〔保育・中部地区〕
- ・保護施設であることから、入所者の秘密を洩らさないこと等を配慮した上で未実施。・日中活動や介助等の通常業務をこなしながら公益的な取り組みを継続的に持続するとなると事務員配置や**業務の負担**が相定され検討要する。〔その他・中部地区〕
- ・離島のその又離島にある施設の為、**慢性的な職員不足**であり、現在の職員数では困難である。又、入所者数の定員制や介護報酬の減額等により**財源も乏しい状況**である。・社会福祉協議会が行う事業所で同じ建物である。そのため社協が行っている取り組みとなっている。〔高齢・離島〕
- ・事業としては、元々赤字事業の認識はあったが、地域貢献、要介護、要支援にならない様にいきがい支援の取り組みは必要との考えがあり実施。公的な支援（運営費など）あればとても助かる。〔高齢・那覇市〕
- ・保育士不足の為定員充足が減の為、決算的赤字が出ている。地域のデイサービスへの協力依頼への対応がやっとの状況。まず**保育士の安定的な充足**を果たしたい。〔保育・宜野湾市〕
- ・**介護職員が不足**している中で対応する職員の配置が出来ないため現在、施設長が対応している。〔障害・離島〕
- ・日頃の業務以外に何かを行おうとするとその分負荷がかかってしまう（分担制にはしているが）。〔障害・豊見城市〕
- ・学童保育事業を実施する場所、施設の確保で**財源捻出で困難を要している**状態である。業務としてどこまで追求できるかの判断が難しい。地域行事などへの恒常的取り組みとなると難しくなる。〔保育・名護市〕
- ・**人材不足**の為 H30.7月31日付けで相談事業を休止している。〔障害・中部地区〕
- ・専門の担当配置でない為、**通常業務を行いながら**である事から**負担**になっている。〔児童・離島〕
- ・④「対応する職員の相談技術等、専門的なスキル不足」や⑥「取組みに対する職員の理解不足」があるので法人内で取り組みを行いたいが、①「職員の業務負担・業務過重、人材不足」が課題となりやすい。**他機関や他の法人と連携したいが連携方法が分からない**。⑦「取組みに対する地域住民への広報周知の方法」や⑨「地域ニーズの把握」の力が法人として不足しているので、行政や民生委員等から情報が欲しいが**個人情報保護が壁**になる事もある。また、ニーズの把握が出来ても一部の**情報で不足**していると感じる事もある。〔障害・南城市〕
- ・小規模特養のため、**財政上余裕がない**ことがある。そのため、勤務を調整のうへ「公益的取組」を実施せざるを得ないが、その調整が難しい。**人員確保が厳しい**現状から、新たな職員の採用は困難。〔高齢・離島〕
- ・全ての項目に当てはまります。課題解決のための**情報不足**。〔保育・宜野湾市〕
- ・取り組んでいることが果たして公益的な取り組みになるのか、よくわからない。〔保育・浦添市〕

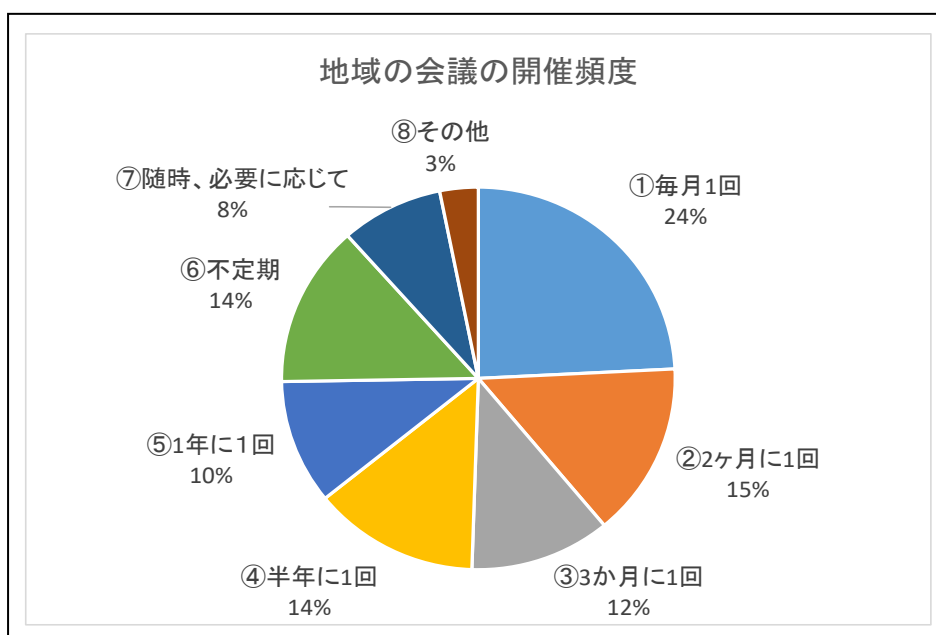
問7. 利用者以外の地域住民の福祉・生活課題に関する情報共有や意見交換、ケース検討を行う会議の有無



問7- (2) 上記(問7)の会議の参加者の属性について



問7- (3) 上記(問7)の会議の開催頻度について

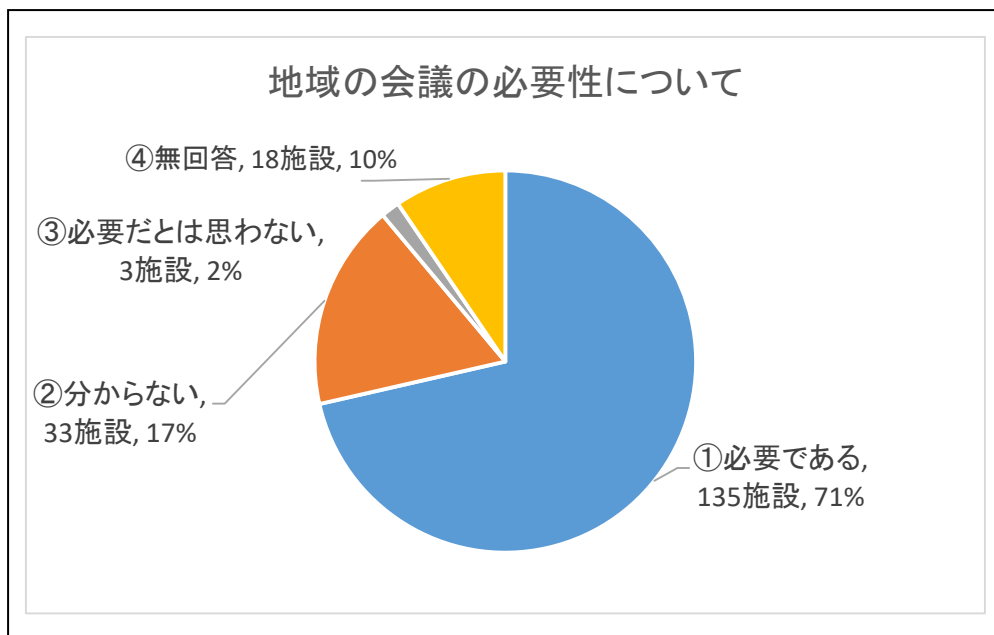


地域住民の福祉・生活課題に関する情報共有や意見交換、ケース検討を行う会議

(1) 会議等の名称	(2) その他の参加者
<p>南風原町自立支援協議会 相談支援連絡員 与那原町5者会議、要対協、障害者自立支援協議会 施設第三者委員との意見交換会 専門職ネットワーク 名護市母子保健推進 南城市社会福祉関係機関・団体連絡会 高齢者虐待防止会議（対策） 糸満市社協主催 法人代表会議 障害児合同学習会、地域民生委員事業交流（情報交換会） 地域連絡会 地域福祉協議会 社会福祉法人連絡会 宮古地区連絡会 運営推進会議 運営推進委員会等 区ケース会議 村障害者策定委員会 南風原町社会福祉施設長連絡会 宜野座村要保護対策地域協議会 モニタリング会議、担当者会議 地域ケア会議 知花・登川・池原自治体との調整会議 南城市社会福祉関係機関・団体連絡会 保幼小連絡会議 ケース検討会、各種会議 曙まちづくり協議会 クガニー会 役場園長会 石垣市要保護児童対策地域協議会 神森中学校区コミュニティづくり推進委員会 ①地域つながるプロジェクト会議 ②地域の施設ケアマネと介護保険を利用する障害支援を検討する会議 ③在宅障害者の一般就労を支える会 ④介護者の会（間接的見守り） ⑤異業種交流会 南城市社会福祉関係機関・団体連絡会 A 地域子育て支援センター連絡協議会 B 児童館地域関係者懇談会"</p>	<p>必要に応じて民生委員等 法務局、警察署、医師会、社協 町内の老健施設、病院 石川警察署、中部福祉事務所、コザ 児童相談所 医師、警察官、区長 医療法人 社会福祉協議会 学区内の保育園、幼稚園 社会福祉協議会職員 各種団体 警察署員</p>

<p>村社協連絡協議会 那覇市真和志支部園長会 ①地域ケア会議 ②キャラバンメイト連絡会 ③八重瀬町ケアマネ連絡会 地域連携協議会 名護市在介支援会議 那覇市 第一民生委員児童委員協議会 定例会 八重瀬町社会福祉協議会、評議員会、福祉事業所連絡会議 要保護児童対策地域協議会 宝寿会 地域ケア会議、社会福祉協議会 地域包括会議（情報交換） ケース検討会議、地域ケア会議 市内相談員連絡会 地域ケア会議 他職種意見交換会 首里ネットワーク 村の保健センター等の主催する会議に委託ケアマネが参加 自治会単位のケア会議 子ども子育て居場所づくり連絡会 中部地区地域ケア会議 糸満市内社会福祉法人連絡会 地域ケア会議、事例検討会 日常生活圏地域ケア会議 南城市生活支援体制整備事業 第2層協議体 包括支援センターケア会議、村ケアマネ会議 ①国頭村介護支援専門員連絡会②地域ケア会議 豊見城市自立支援協議会/相談ワーキング/定期連絡会かざぐるま 地域連絡会 自立支援協議会 特に名称は無い。貧困世帯の事業に関わっている事業所を行政が 集めて実施している。 地域密着運営推進協議 ①南城市虐待防止委員会、②南城市社会福祉関係機関・連絡会 ③南城市自立支援協議会、④小禄南小学校まちづくり協議会 ⑤那覇市民協働大学</p>	<p>医師会関係 病院の医師、看護師。介護施設職員。 診療所のドクター及びナース 担当ケアマネージャーなど 福祉用具、セラピスト 地域包括支援センター、社協、警察、 郵便局 ケアマネ、有識者等 那覇市社協大名地域福祉推進会 包括会議やケアマネ会議のみでは 地域のニーズに対応できていない。 相談事業所、PS、社協、地活 アドバイザー 入居者・利用者家族 協議会 OB・OG</p>
--	---

問8. 地域の福祉・生活課題に関する会議等（連絡会や情報交換会、ケース検討会など）必要の有無



会議等を必要とする理由

- ・福祉ニーズの掘り起こし等。〔障害・南部地区〕
- ・行政とのつながりや事業所同士の横の繋がりを作ることによって、**地域のニーズを拾いやすくなる**。〔障害・中部地区〕
- ・**地域ニーズを把握し、社会福祉法人間の連携を図るため**。〔児童・南部地区〕〔障害・浦添市〕〔障害・南部地区〕
- ・少子化。名護市内の人口の推移や社会の状況を知るうえで大事かなと思います。〔保育・名護市〕
- ・地域の福祉の向上につながる。〔障害・南城市〕
- ・社会福祉法人として新たな公益的な取り組みが実施できる。〔高齢・うるま市〕
- ・**地域での課題と施設側が考える課題の違いを確認、把握したい**。法人として出来る事を見つきたい。〔高齢・離島〕
- ・**保育園へ入所してない子どもや家庭の援護や援助**。〔保育・糸満市〕
- ・地域の高齢者の課題を行政、民生委員等と情報共有が必要だと考える。〔高齢・南部地区〕
- ・情報共有や意見交換がある事で、**地域の状況が把握できる**ので取り組みやすい。〔保育・糸満市〕
- ・地域における公益的な取り組みを実行するにあたり、より地域の内情が把握できるため。〔児童・糸満市〕〔障害・糸満市〕
- ・**保育分野と社協とのケース検討会は少ない**と考える。〔保育・南部地区〕
- ・地域における子育て支援のステーションとして、周知する必要があると考える。〔保育・うるま市〕
- ・児童の支援及び発育情報が共有できる。保育園通園児童外の児童の親子関係の情報がもらえる。それぞれの関係機関情報から、園の活動状況を振り返る事が出来る。〔保育・那覇市〕
- ・園に通う子の気になる情報は役所なり連絡が来るが、園に通っていない子等の情報は全く入って来ないので。〔保育・那覇市〕
- ・皆で生活環境を良くし情報交換することで、子どもの健全の育成に繋がる。〔保育・名護市〕
- ・**地域の福祉ニーズを知るためにも地域の連携の為にも必要**。〔保育・那覇市〕
- ・**地域ニーズ・課題を把握する為**。〔障害・糸満市・うるま市〕〔保育・うるま市〕〔高齢・うるま市〕

- ・当施設で受け入れ可能等の判断や、体制作りに活かす。〔その他・那覇市〕
- ・地域の状況を知りたい。関わりを深めたい。〔保育・南部地区〕
- ・地域と密着し情報交換等が上手く出来れば、今後の課題が発展していくのでは。〔障害・うるま市〕
- ・情報を共有することで、地域にある他の施設の状況等を把握しお互いの施設にいい影響を与えらる。〔障害・北部地区〕
- ・地域との交流場や親しみやすい保育園であるため。〔保育・浦添市〕
- ・課題を共有し解決するため。〔高齢・北部地区〕
- ・独居老人、障害者、不登校の子等の情報がケース会議の中で知る事が出来る。〔保育・浦添市〕
- ・役所や社協を通して、自治会が地域にある福祉施設との連携の在り方を研修を通して知らせた方が良い。〔保育・浦添市〕
- ・広い視野で地域の福祉をコーディネートする事ができればと思います。〔保育・中部地区〕
- ・地域の情報やニーズも頂きたいと思っています。また、開かれた施設作りをするためにも必要性は感じておりますが、人手不足のため職員を派遣することが難しい状況です。〔障害・うるま市〕
- ・色々な立場からの問題点・計画の発言があり、情報交換にはかかせない。〔障害・北部地区〕
- ・地域の他機関との連携、ネットワークの必要を痛切に感じる。〔その他・中部地区〕
- ・施設利用者だけでなく、地域住民の状況や課題等を共有し、改善に向けての取り組みが出来る。〔保育・南部地区〕
- ・社福、企業の壁をこえて連携する組織づくりが急務と感じる。〔保育・沖縄市〕
- ・実態の把握は必要だと思います。〔保育・北部地区〕
- ・福祉、医療、保健と専門職が集まり、検討会を開くことが当たり前になっている。特に困難ケースでは処遇の支援の方向性が見えてくると思う。〔障害・北部地区〕
- ・今後開催検討中。地域ニーズ等の把握が主。〔高齢・那覇市〕
- ・課題を共有し、情報（意見）交換等を行う事で地域のニーズや他事業所との連携を含めた取り組みができる。〔高齢・離島〕
- ・自施設のみではなく、地域や生活課題にもっと目を向けたほうが良いため。〔高齢・那覇市〕
- ・地域の実情（特性）を把握することができる場であり、地域住民と直接情報交換が行えるので、相互理解が図りやすい。〔保育・南城市〕
- ・施設のこのことのみで、地域のことについてはなかなか情報が得られないし、日々の業務に追われ、自分達から発信することもままならない現状があるため。〔障害・南城市〕
- ・地域の状況を知ることによりニーズなど把握できるため。〔保育・那覇市〕
- ・情報の提供や交換によって導かれることが多々あると思います。〔保育・沖縄市〕
- ・地域のニーズが把握できない。また地域の資源も同じ。〔高齢・那覇市〕
- ・地域の情報を早く知り、取り組みやすくなる。〔高齢・南部地区〕
- ・地域の方の情報（要介護者要支援者）を得ることで事業所において協力できることがあるかもしれないので。〔高齢・中部地区〕
- ・より多くの情報を得ることが出来る。多くの施設・事業所が協力することでより早い問題解決につながる。〔高齢・沖縄市〕
- ・地域に高齢者が多い事から安否確認が必要だと思う。自園調理をしているので配食サービスは出来るのかなと感じる。〔保育・中部地区〕
- ・保育園が地域の福祉・生活課題を知る事ができ、公益的な取り組みに取り組みやすくなる為。〔保育・糸満市〕

- ・情報が多ければ多いほど、出来る支援にも繋げていけると思われるため。〔児童・離島〕
- ・浦添市社協主催の会議ではあるが、神森中学校区という学区に分けて 1 人老人の見守り、地域の防災、子どもたちの登下校の危険場所等のチェックを通してのサポート等又各所属団体が自主的に役割を担う事ができ、組織的に支援体制ができる。〔保育・浦添市〕
- ・情報交換や会議があれば、そこから何がどう必要なのかの見出しの契機になると考えている。〔保育・うるま市〕
- ・今回初めて地域の社会福祉法人施設が集まった。公益的取り組みについて説明と今後の提案を求められた他法人の事業内容を知ることでアイデアや連携の大切さを感じた。〔保育・中部地区〕
- ・地域の保育園が情報の交換及び適切な連携の下で、関係機関ともつながる事によってより安定した支援が実現できると思う。〔保育・那覇市〕
- ・地域の現状やニーズが共有でき、提供できるサービスの検討を様々な視点から模索できるなど、メリットが大きいと思う。〔高齢・南部地区〕
- ・関係者間の情報共有がされていないと連携が取れない。〔障害・那覇市〕
- ・地域の福祉課題を地域で共有し、それぞれが持つ資源（人材、設備 etc）を有効に活用し、地域に貢献する。〔高齢・離島〕
- ・行政・専門機関が一堂に会することにより、必要な情報を共有することが可能。又、困難ケース等も参加メンバー協議し解決へ近づける。関係機関との共有と連携が地域の潜在的なニーズの掘り起こし、生活課題の改善に繋がるため。〔高齢・名護市〕
- ・施設運営には地域住民からの支援やバックアップが必要不可欠である。その為には、日常より情報交換会や連絡会をもつ必要性があると考えます。〔高齢・那覇市〕
- ・地域は地域で守る姿勢が必要だと思う（虐待や孤独死、不審者等による犯罪の未然防止につながる）。〔保育・沖縄市〕
- ・地域の実態を把握（知る）事につながり、法人として地域貢献活動の糸口を見つけるきっかけとなる。〔障害・北部地区〕
- ・地域貢献活動を行うにあたり、地域の実態が分かるような会議が必要だと思う。〔保育・離島〕
- ・交流することによって、どんな公益事業をした方がいいか具体的に把握できると思います。〔保育・浦添市〕
- ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要。〔高齢・中部地区〕
- ・情報共有することで、有効な行動を生み出すきっかけになる可能性あり。〔高齢・離島〕
- ・待機児童解消・子どもの貧困等課題が山積みしている為。〔保育・名護市〕
- ・多職種間での意見交換・情報交換は有意義である。〔高齢・離島〕
- ・保育所が単体で福祉・生活課題に対応出来ないから。〔保育・南部地区〕
- ・利用者本人の要望や家族の要望、近隣の要望を聞き、それぞれが困っている事への対応策として公的制度・サービス及びインフォーマルなサポート等を考えている。〔高齢・那覇市〕
- ・地域における公益的な取り組みについては、保育士確保などが厳しく、出来る限り行っていきたい。どういったものが当てはまるのか事例などがあれば知りたい。〔保育・沖縄市〕
- ・行政・他事業所等、会議・勉強会（情報共有、提供）は必要。〔障害・うるま市〕
- ・地域ニーズの把握、課題への取り組みについて役割分担が出来る。〔高齢・糸満市〕
- ・離島がゆえの情報が入りにくい現状があり、沖縄本島や県外への研修費用の法人負担が大きい。連絡会等での情報共有は必須。〔高齢・離島〕

- ・保護が必要であり、利用できる制度があるにも関わらず、**制度の存在を知らない等の理由により保護を受けることが出来ない人々の救済の為にも必要**である。〔障害・うるま市〕
- ・それぞれの機関で様々な取り組みをしているのは承知しておりますが、それについて共有、協力する体制は出来ていないから必要。〔障害・名護市〕
- ・地域の関係者とのコミュニケーションは必要だと思います。〔高齢・中部地区〕
- ・会議に参加する事により、取り組み内容や地域の問題も少しずつ見えてくるので必要である。〔保育・糸満市〕
- ・会議に参加することで地域の社会資源を把握する事ができ、又ケース会議や情報交換を行う事で知識や技術を取得する事が出来る。〔高齢・北部地区〕
- ・**施設に対する理解を得るため**。〔児童・名護市〕
- ・高齢者等が住み慣れた地域で生活していくためには**自治会との連絡や連携は重要**であると思う。〔保育・離島〕
- ・各々の問題でなく**地域全体として情報を共有することで課題解決にむけて取り組む事ができる**。〔障害・豊見城市〕
- ・地域の方々にも障害者の理解をしてもらいたい。〔障害・中部地区〕
- ・今年児童虐待により、幼い命が奪われる事件が報道された。今後、児童に限らず本当に支援が必要な方々が見過ごされるケースが無いように。〔高齢・沖縄市〕
- ・**地域の課題をアウトリーチして集約をして協議する事で、社会資源の向上に繋がるなど、より良い街づくりが出来る**。〔障害・糸満市〕
- ・地域の課題は地域を網羅した取り組みをする事で連携強化につながるため。〔児童・離島〕
- ・南城市だけでも、**介護施設はたくさんある為情報交換や利用者の状況などの検討が必要**。〔高齢・南城市〕
- ・地域公益的取組を行うには法人や関係機関の連絡・連携が必要。〔障害・南城市〕
- ・地域のニーズを知りたいが、その機会がない。**個人情報保護法改正以来、利用者以外の情報が伝わらない**。2年ほど前、役所での「地域ケア会議」があったが、現在は実施されていない。独居高齢者の実態や、障害者等、島住民のニーズを知るうえでのデータが知らされておらず、全体での会議も行われていない。〔高齢・離島〕

会議等を必要としない、又は分からない理由

- ・情報交換会、ケース検討会等が必要か、不必要か**まだ判断できない**。〔保育・沖縄市〕
- ・**現時点では必要性を感じていないが、状況に応じてはやる事も検討している**。〔保育・那覇市〕
- ・取り組みの必要は感じるが、積極的に参加する**体力が各組織に無い様に見える**。〔保育・南城市〕
- ・公益的な取り組みを始めるには、**人的にも施設の容量的にも余裕がないため**。〔保育・中部地区〕
- ・行政や他事業所との**情報交換会の場が既に存在している中、新たにその様な会議等を設ける必要性があるのか分からない**。〔高齢・南城市〕
- ・どういう内容で、どういう取組が必要なのかが分からない。〔保育・糸満市〕
- ・現況は地区の連絡会、自立支援協議会を始め**情報共有などの場は複数あり、これ以上の会議は業務負担が大きい**と考えます。〔障害・離島〕
- ・現在行っている事業でも**時間が足りない**ので、他に公益的取り組みをしないといけないと言われても、なかなか難しい。行政側で各分野の課題を把握して頂いて、周知してもらえると助かる。〔保育・南部地区〕

- ・開園し日浅く、社会福祉法人としてどういった取り組みが地域で必要なのかが分かっていません。今後自治会とも協力し、情報交換をしていけたらと思います。〔保育・南城市〕
- ・当施設内での課題が山積みし、利用者以外は手が回らないと感じる。〔保育・那覇市〕
- ・まだ情報・知識不足であると感じる為。〔保育・糸満市〕
- ・社会福祉法人が提供できるサービスと地域における福祉・生活課題のニーズが不明。〔高齢・うるま市〕
- ・把握していない為判断が難しい。〔その他・中部地区〕
- ・必要と思われるニーズ調査等を行っていない。〔障害・那覇市〕
- ・ケース事に対応している為、それ以上必要なのかどうか…。〔保育・那覇市〕
- ・様々な情報の共有は大切だが、どの様にして取り組めば良いのか等わからない事が多々あると感じる。〔保育・離島〕
- ・現状、園で行っている事業の運営に追われており、どれ程貢献できるか疑問である。〔保育・沖縄市〕
- ・本業が人材不足等により、福祉サービスが充実するための安定が必要と思われる。〔保育・宜野湾市〕
- ・まだ取り組める状況にない。〔高齢・うるま市〕
- ・その会議等は充分にあるので、後はどう機能させるかだけだと思うので。〔障害・うるま市〕

問9. 社会福祉法人の地域における公益的な取り組みについて、御質問や御意見等

- ・社会福祉法人の新たな課題としては「社会福祉法人の地域における公益的な取り組み」については、まず出来るところから始めており、あまり背伸びせず将来的にも継続的に進められることを主眼としております。当地域は離島という特殊性があるので、住民の方のニーズを求めているところもあります。目指す目標としては、当法人しか出来ない活動は何か、本当に地域住民の方の役に立つものは何かを探りながら、その課題を果たしていきます。社会福祉法人の活動として、自社の業務以外の分野で取り組む「公益的取組」ためには個人情報データの収集できる機会がなければならないが、現在のところ大きな壁となっている。各自治体での対応に任せているのであろうが、一方で社会福祉法人に地方での多業種の公益的取組を望むなら、法制度として、社会福祉法人が各種の地方の住民データの収集を可能とするシステムを作ってほしい。〔高齢・離島〕
- ・法改正により 定款にも地域貢献の取り組みが託されたのは良いことと思う。しかしその具体化については、施設単独の取り組みよりも市全体の福祉施設を把握共有する意味で、社協による説明会や提案のようなものが年内にあれば、次年度に向けて考慮しやすいと考える。県社協、市社協は調整役としての機能を發揮して頂きたい。〔保育・沖縄市〕
- ・市や県社協等が地域ごとにもっと細かくリサーチするべきだと思う。〔保育・糸満市〕
- ・地域における発信等は、現在保育士の慢性的な不足から通常の配置すら困難な状況である。しかし今後保育園における子育て支援の役割については活動費等を増額させるなど、一機関事業として益々大きな役割を果たす必要があると考える。〔保育・うるま市〕
- ・当法人では与えられた地域の中の役割を果たすことが第一で、それが求められている公益的な取り組みと考えています。与えられた役割の中で自然に派生する公益的な取り組みなら積極的に関与できますが、役割に関与しない制度として取り組む事には疑問を覚えます。〔保育・南城市〕
- ・公益的取組として何をしたら良いのか（費用がかからず、人手も必要としない）よく分からない。〔保育・南部地区〕

- ・地域における公益的な取り組みは、地域の共有と理解が必要で保育園が公益的な取り組みをしたいと思っても道が開かねば公益的な取り組みは難しいのではないのでしょうか。〔保育・浦添市〕
- ・保育所では公益的な取り組みは限られてしまう。〔保育・糸満市〕
- ・資金の用途制限がある中で「+公益的な取り組みを行う」ということを、どうやって両立していくのか。社福として公益的な取り組みの必要性は理解できる一方で、難しさを感じる。〔保育・離島〕
- ・今年度は地元の農業組合からの地域活動についてのタイアップのお話があり、地域の方との繋がりを持ちつつ、菜園活動を行うという取り組みが可能になった。単年度の取り組みとならないよう中長期取り組み計画を立てていきたい（ただ人材が足りない）〔保育・沖縄市〕
- ・この質問は保育園としてはどうかと思いました。公益的な取り組みとは、問3の事業に限る事なのかと思いました（勉強不足ですみません）〔保育・北部地区〕
- ・平成28年4月1日施行された社会福法等の一部を改正する法律第24条第2項「広域的な取り組み」がすべての社会福祉法人において責務化され、特別な事業を考案しなければ！と身構えてしまった。日常的な業務の中から取り組める活動がある事、すでに活動に取り組んでいる事業がある事を知り、気が楽になった。現在、取り組んでいる活動が継続するよう見守っていききたい。公益的な取り組みを実施するにあたり、地域のパイプ役である民生委員との連携が難しいと感じた。理由として「公益的な取り組み」として行いたい事業内容を提示しても反応が薄く活動に賛同が得にくかった。各市町村の社会福祉協議会が中心となり民生委員や福祉関係者同士、情報交換が行える会議等を開催し地域の課題等を共有できる場を設けてほしい。〔保育・南城市〕
- ・公益的な取り組みについてと言われるとどんなことを指して問われているか理解出来ないが、障害者施設が販売している米、パン、野菜、わかめ等購入しています。〔保育・南部地区〕
- ・他施設の取り組み状況も参考にして、現状の取り組みの改善や新たな取り組み等ができればと思います。〔児童・沖縄市〕
- ・障害分野では、ニーズの把握がなかなか難しい面があると感じている。〔障害・南城市〕
- ・現在地域の民生委員や児童相談所、子ども相談健康課、小学校との連携を取りながら、定期的に情報交換を行っています。3歳の保育園児と小学校1年生、3年生の兄妹と母親の件について地域の情報交換が大切だと痛感している最中です。〔保育・沖縄市〕
- ・地域の中で生かされている、用いられていることに感謝しながら本園で出来ることはやっていきたいと思っています。教会立の保育園なので、教会としての教えや社会福祉に携わることは原点だと思っている。〔保育・名護市〕
- ・地域の法人の連携。公益的な取り組みについてのアイデアを進める。また具現化するチームが必要では（補助金なしの取り組み）。〔障害・うるま市〕
- ・開かれた社会福祉法人への取り組みは良い事だと考えている。しかしながら現在取り組んでいるサービス以外にも新たな公益的な取り組みを行っていることは、人材や財源の観点から考えると難しい。国や自治体には人材、財源の面においてもある程度の協力は必要だと考える。〔高齢・うるま市〕
- ・地域の子育て相談や一人暮らし高齢者家庭へ幼児たちが訪問できる支援ができたらと思っています。〔児童・南城市〕

- ・さまざまなサービス提供の形があると思いますが、今回の調査で得られた結果を公表していただきそれを参考に、新たなサービス提供のヒントにしたいと思います。〔高齢・南部地区〕
- ・公益的な取り組みについては必要性、やりがいを感じており、今後も多様化していく地域の福祉ニーズに応えられるよう推進していきたいと思いますが、通常の業務に加え限られた職員数のため、少し負担に感じることもあります。〔障害・名護市〕
- ・様々な公益的取り組みが例示されているが、保育業務に関わる者としては実際の所、実施するには課題が多いと感じています。具体的に必要とされる個人や団体の情報が無いしどのようにすればいいのかわからない。もっと社協なり行政が先頭に立って研修会等を開催して欲しい。〔保育・宜野湾市〕
- ・とても良い取り組みだとは思いますが、財政的に難しい施設（特に小規模、人材不足の離島施設）等へ、全国一律の対策ではなくその地域に特化した国の対策も必要ではないかと思う。〔高齢・離島〕
- ・あまり公表できない取り組みもあり（DV、虐待、更生保護等）情報の開示、アンケートの返答に苦慮する。〔障害・名護市〕
- ・保育所には、地域課題に対応する職員配置がありません。地域の社協や要保護児童対策協議会、自立支援協議会等情報集約と共有が必要だと考えます。保育園が主体となって出来ることがないので、地域連携の主体となるのはどこなのかがはっきり理解されていないようで、町内の取り組みが進んでいないように感じます。〔保育・南部地区〕
- ・事業としては、元々赤字事業の認識はあったが、地域貢献、要介護、要支援にならない様にいきがい支援の取り組みは必要との考えがあり実施。公的な支援（運営費など）あればとても助かる。〔高齢・那覇市〕
- ・アンケートはメールで回答できるようにしてほしい。時間が節約できるので。〔高齢・離島〕
- ・地域おける公益的な取り組みに該当するであろう事項について手探りで進めている状態です。〔障害・うるま市〕
- ・慢性的に人手不足で手詰まり感があり、取り組みが難しい状況。〔保育・糸満市〕
- ・会議の為の会議でなく、実施や実際係る取り組みに向けた会議であってほしい。行政の財源的なバックアップが欲しい。会議へ、実質的各部の責任者が参加メンバーでないと単なる情報交換で終わってしまう。〔保育・名護市〕
- ・やりたい事はたくさんあるが、予算の兼ね合いで断念している。補助金の仕組み等についての情報提供や勉強会等があれば、ご教授頂きたい。〔障害・糸満市〕
- ・法人単位で頑張っている地域公益的取組を社協の地域コーディネーター等が取りまとめる等して地域ニーズに合った取り組みを提案したり、法人間連携を促進するような動きをしてもらえると有難いです。県社協の取組であるサンクス運動は非常に良い取り組みだと感じているので、どんどん推進してもらいたい。もちろん、法人ごとで地域公益的取組に対する温度差が考えられる。その際には、熱心な意欲的な法人で集まる場を作り、モデルケースを作っていく、その他多くの法人を巻き込んでいくことが望ましい。〔障害・南城市〕